

	2015年(平成27年)	2016年(平成28年)	2017年(平成29年)
主 な 経 緯	<p>2015年3月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 有識者会合が取りまとめた評価書を原子力規制委員会が受領</li> </ul> <p>2015年11月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 原子炉設置変更許可申請(新規制基準への適合性確認申請) (敷地内破砕帯に関しては、有識者会合以降の新たな調査結果などを申請書に反映)</li> </ul> <p>2015年11月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 審査会合(1回目) (審査の進め方)</li> </ul> <p>2016年1月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 審査会合(2回目) (申請の概要)</li> </ul> <p>2016年2月</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▼ 審査会合(3回目) (申請内容に係る主要な論点)</li> </ul>		<p style="text-align: center;">→</p> <p style="text-align: center;">原子力規制庁との敷地内破砕帯評価に関するヒアリングを実施 (2016年11月~2017年11月)</p>
	<p>原子力規制委員会の有識者は、D-1破砕帯等を活断層に該当すると評価しました。これに対して当社は、調査で得られたデータなどを用いて評価を行い、一貫して活断層ではないことを示してきました。 現在当社は、審査会合で敷地内破砕帯は活断層ではないことを科学的、技術的に説明しているところです。</p>		

主  
な  
経  
緯

2017年(平成29年)

2018年(平成30年)

2019年(平成31年/令和元年)

2020年(令和2年)

2017年12月  
▼ 審査会合(4回目)  
(敷地内破砕帯)

2018年4月  
▼ 審査会合(5回目)  
(地震動評価)

2018年7月  
▼ 審査会合(6回目)  
(敷地内破砕帯)

2018年11月  
▼ 審査会合(7回目)  
(敷地内破砕帯)

2019年4月  
▼ 審査会合(8回目)  
(地震動評価)

2019年8月  
▼ 審査会合(9回目)  
(敷地内破砕帯、重要施設の配置等見直し、  
審査資料の記載の不備)

2019年10月  
▼ 審査会合(10回目)  
(記載の不備に対する再発防止対策等)

2019年12月  
▼ 審査会合(11回目)  
(地震動評価)

2020年2月  
▼ 審査会合(12回目)  
(敷地内破砕帯)

2020年2月  
▼ 審査会合(13回目)  
(敷地内破砕帯)

2020年6月  
▼ 審査会合(14回目)  
(敷地内破砕帯)

原子力規制委員会の有識者は、D-1破砕帯等を活断層に該当すると評価しました。これに対して当社は、調査で得られたデータなどを用いて評価を行い、一貫して活断層ではないことを示してきました。  
現在当社は、審査会合で敷地内破砕帯は活断層ではないことを科学的、技術的に説明しているところです。